

# ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」  
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H29. 6. 29

## 「ありがとう」がたくさん聞けた修学旅行

校長 楯 明夫

修学旅行に引率してきました。

まず、感心したのは、行きのバスから、日々学校で行っている朝の会が始まったことでした。時間を見ながら、リーダーが声をかけ、それは始まりました。楽しみにしていた修学旅行、浮かれていて、先生に叱られてもおかしくないなと思っていましたが、先生に指示されることなく始まり、会の終わりには、お世話になる添乗員さん、ガイドさん、写真屋さん、引率の先生にお願いしますと言いました。その時、この子たちは、きっと無事帰ってくるだろうと確信しました。予想通り無事に充実した笑顔で帰ってくることができました。

学年の担任の先生を中心に計画段階で最も配慮すべき事は安全です。旅行会社、旅館の方と連絡調整しながら、少しでも心配な点があると事前に話をして対応を検討してもらいます。しかし、最高の安全は、子どもがきちんと育っていることです。グループ行動では、目的をわかり、安全を大切にしながらきちんと判断ができる子に育っていることです。修学旅行中の一つ一つの活動が、そんな子どもたちを育てます。出発の時確信できたのは、子どもたちの「かまえ」の素晴らしさでした。「楽しい修学旅行にするぞ」「たくさん学んでくるぞ」そんな「かまえ」が、先生が声をかけなくても時間通りに朝の会を行う姿をつくりだしたのだと思います。

そして、何より、そんな子どもたちだからこそ、この修学旅行でたくさんの「こんにちは」「お願いします」「ありがとうございました」という言葉が飛び交いました。案内をしてくださる学生ボランティアの人に。見学先の係員の人に。旅館の人に。バスを降りる度運転手さんに。

素晴らしい姿を見せてくれた子どもたちに「ありがとう」という気持ちでいっぱいになった修学旅行になりました。

